

令和2年8月4日

宮城県中小企業団体中央会 殿

宮城県高等学校長協会会長 佐々木 克 敬
(宮城県仙台第三高等学校長)
同 就職対策委員会代表幹事 遠 藤 秀 樹
(宮城県塩釜高等学校長)
宮城県高等学校進路指導研究会会長 駒 木 康 伸
(宮城県利府高等学校長)



令和3年3月新規高等学校卒業者の就職について (お願い)

本県高等学校教育の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、今春3月の高等学校卒業者の就職につきましても、多大なる御配慮をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災から9年余りが経過し、復旧・復興の進展に伴い緩やかな景気回復の動きなどにも支えられ、県内新規高等学校卒業者の就職内定率につきましては、ここ数年極めて高い水準を維持してまいりました。これもひとえに、事業主の皆様方が、雇用促進について積極的に御尽力いただいたことによるものと考えております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本県高等学校においても臨時休業が5月末まで続き、高校生に対する進路指導が大幅に遅れるとともに、合同企業説明会の開催が相次いで見直されるなど、就職に向けた情報を十分に収集することなく、不安を抱えながら就職活動に臨む高校生が多くなることが懸念されます。また、新型コロナウイルス感染症の影響等により県内の景気動向も予断を許さない状況となっており、新規高等学校卒業者をとり巻く就職環境は決して明るいものではないと認識しております。このような状況を踏まえ、各高等学校におきましては、求人と求職のミスマッチや早期離職の防止に向け、例年以上にきめ細かな就職指導に努めていかなければならないと考えております。

以上のような事情を御賢察いただき、厳しい経済情勢ではありますが、令和3年3月の新規高等学校卒業者の雇用確保につきまして、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

また、県内特別支援学校高等部卒業者の就職につきましても、特段の御配慮を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の今後ますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。